

# Cente Technical Information

発行番号	109-0001	Rev	第1版	発行日	2014/08/21
題名	エラーコード取得時に上書きにより正しく取得できない不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Encrypting Module Ver1.00				
影響API	efs_fopen, efs_fclos, efs_fread, efs_fwrite, get_efsyser				
関連資料	なし				

## 【現象】

複数のタスクで暗号・復号APIを実行する環境において、エラーコードを取得した時、エラー格納変数(EFSYSER)への上書きが発生し正しく取得できない場合があります。

## 【例】

タスクAとタスクBが暗号・復号APIを同時実行している場合を想定します。  
タスクAでエラーが発生し、EFSYSERにエラーコードを格納します。  
この直後にタスクBにディスパッチし、get\_efsyser()でエラーの発生を確認した場合、タスクAで発生したエラーを取得してしまいタスクBが正常動作できなくなります。

尚、OS未使用もしくは暗号・復号APIを1タスクで使用している場合は本現象は発生しません。

## 【原因】

本来は、タスク毎にエラー格納変数を設けるべきでしたが、1つのエラー格納変数(EFSYSER)を複数のタスクで共用していた為、上書きにより正しく取得できていませんでした。

## 【回避方法】

### ■運用での回避方法

暗号・復号APIの運用を複数タスクで同時実行せず、1タスクのみで運用して下さい。  
この運用ができない場合はプログラム修正により回避して下さい。

### ■プログラム修正による回避方法

修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

以上